

令和2年12月3日

おおさかしりついちおかしょうがっこう
大阪市立市岡小学校
こうちょう なかたに かずひろ
校長 中谷 和博

11月は、「児童虐待防止推進月間」です。(Vol. 4)

低学年用DVDの内容をお知らせします

11月30日に、「児童虐待防止啓発授業用教材」DVDを使って、2年生を対象に「虐待防止」の学習を行いました。その内容を紹介し、vol5にて、子どもたちの反応を紹介します。

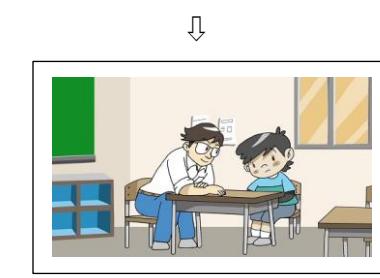
[DVDの内容]



タイトル画面
「そうだんするってたいせつなこと
たいせつなこと」



タカシさんが「貸して」も言
わずに太郎さんの消しゴム
を取り上げました。



エピソード1
いたいことっていやだよね



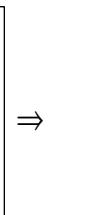
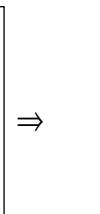
太郎さんはおこって、タカシ
さんの手を叩きます。「痛い、
何すんねん」



教室でのようすです。仲良く
ノートをとっています。



二人は、教室で大げんかを
はじめてしまします。



先生が来て、けんかを止めました。「いたいことって嫌だよね」と先生
はいうのですが、感情的になっている太郎さんは素直に聞くことができません。先生は太郎さんと放課後に話をすることにしました。

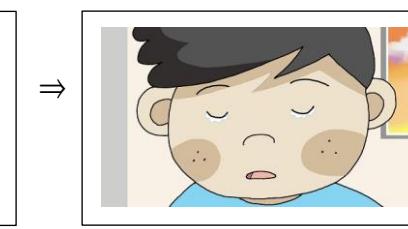
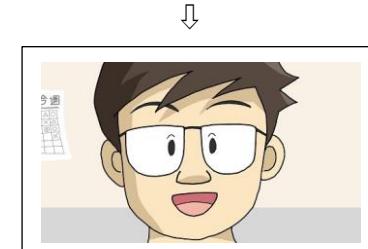
先生「何があったのか話してくれませんか。」

太郎「あいつが勝手に消しゴム取ってん。だから突き飛ばしてん。」

先生「勝手に消しゴムを取られたのが嫌だったんですね。」

太郎「貸しても言わんと勝手に取ったあいつが悪い。」

先生「貸しても言わないで勝手に取るのはダメですね。ですが、だからといって叩くのはいけません。叩いても何がいけなかったのか分からぬですよね。」



太郎「悪いことしたんやから、叩かれるのは当たり前やん」
先生「太郎さんは悪いことをしたら叩かれるんですか。怒っている
んじゃありません家で怒られた時たたかれることがあるん
ですか」
太郎「でも僕が悪いねん。いつも言われるねん」

先生「悪いことをしても叩かれてもいい子なんかいません。もう一
度言います。叩かれていい子はいないし、太郎さんは大事な
子です。」

(太郎さんの回想)
父親「お前またゲームしてんのか。宿
題はやったんか。出されへん言
うことはやってないんやな。ゲ
ームばっかりして、宿題やって
ないくせに嘘つきやがって。何
か考えてんねん、アホ！」
先生「テストが悪い時や、弟と喧嘩
した時も殴られるのですか」
太郎「殴られたり蹴られる時もある。
お前はうつとうしい。生まれて
こんかったらよかったのにっ
ていつも言われるねん。」

先生「そうか、殴られたりうつとうしいとか言われたりしていたので
すね。それはつらかったです。痛かったです。先生、全然
気づきませんでした。ごめんなさい。宿題をしないからとい
て、叩かれたり、うつとうしいと言われたりすることはありません。
話してくれて嬉しいです。ありがとうございます。これからも、こうして
先生や周りの人に相談してください。
それから、タカシさんには、消しゴム貸して欲しかったら貸し
てって言うように、先生から話をします。明白、タカシさんを
たたいたことを謝りますか。」

叩かれたら嫌だと言ってもいいんです。生まれてこなくていい
子なんて、一人もいないのだから。そんなこと言わされたら
先生に相談してください。叩かれる必要のある子なんて一人
もいないのです。

(太郎さんに笑顔がもどりました)

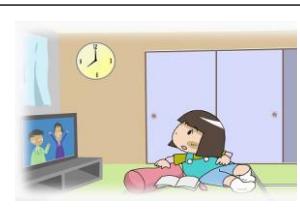


ハナコが言いました。

「うちには帰りたくないねん。家に帰っても一人やし。夜になっても誰も帰ってこ一へんねん。一人で家にいるのは寂しいし、お母さんは夜遅くに帰ってくるねん。お父さんは遠くに仕事に行ってるから、最近おらんねん。ご飯はお菓子があつたら食べる、いつも。時々、ご飯食べてる。お母さん作ってくれんねん。」



その夜のハナコさん



「お腹空いたなあ」



そのとき、ママからの電話が



「ママ朝まで帰られへんから冷蔵庫のおにぎり食べて寝ときや。」



ハナコさんはつぶやきます。「今日も一人ぼっちや…」

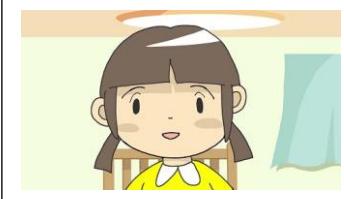
夕食時、ヨシコちゃんはお母さんに次のような話をします。

「お母さんハナコちゃん、夜になっても一人なんやって。ご飯はお菓子なんやって。」

お母さんが言いました。「どうしたお話を聞かせて。」

「あのな、ハナコちゃんが家に帰りたくないって言うねん。毎日ずっと一人やからって。ご飯作ってもらうこともあるけど、お菓子食べてるとかって、それで寂しそうな顔してて…。」

母「そうか、ハナコちゃんがひとりぼっちなのは心配やね。教えてくれてありがとう。お母さんもはなこちゃんのこと心配やから、明日学校の先生に相談してみるね。ハナコちゃんが安心してお家に帰れるようになるといいね。ヨシコは心配しているんだね。お父さんやお母さんに話してくれて嬉しいよ。周りの友達のことでも心配なことがあつたら、いつでも話してな。」



ある日の夕方の公園です。ヨシコとハナコがブランコに乗って遊んでいます。午後6時になりました。ヨシコ「6時やから家に帰るね」

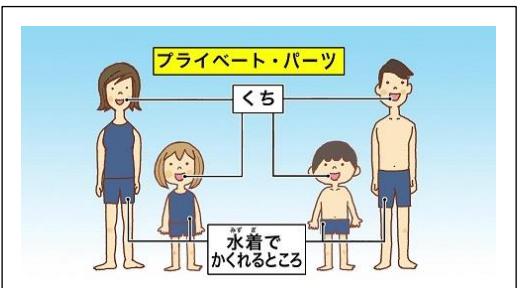
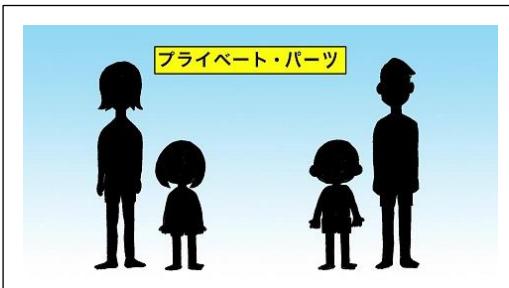


男の子が他の男の子のズボンをひっぱって、脱がそうとしています。担任の先生が止めました。



先生「はーいそこまで。みんな聞いてください。ズボンを脱がそうとするのは、冗談でもいけません」

「体の大切な部分のことを、プライベート・パーティと言うけど知っていますか？
プライベート・パーティというの、口と水着を着た時に隠れる場所のことです。」



「これらは、他の人に見せても触らせてもいけない自分の体の大切な場所です。だから、お父さんお母さんでも、お兄さんお姉さんでも、見せたり触らせたりしたらダメ。そしてみんなも、他の人のプライベート・パーティを見たり触ったりしてはいけません。」

いやなことがあった時は我慢せずに、「やめて」「いやっ」て言いましょう。そして、先生や周りの大人に相談しましょう。担任の先生や他の先生や、保健室の先生にお話ししてくれてもいいです。大人がみんなと一緒にになってどうしたらいいか考えてくれます。

学校以外にも電話で相談できるところもあります。」

